

## 第2章 地区別計画

### ●「地区別計画」の推進について

#### (1) 地区別計画推進委員会について

平成23年度に引き続き、地区別計画に掲げられた各目標の実現を目指して、各地区の「地区別計画推進委員会」（以下、「委員会」という。）が開催されています。委員は、連合自治会、地区社協、民生委員・児童委員、保健活動推進員、地域の活動団体の代表者などの方々が務め、地区の実状に合わせて委員会を組織していただいています。

既に地域では、自治会活動を中心にさまざまな活動が行われています。担い手の確保や世代間の連携などの共通課題を解決しながら、まずは地域活動の継続、そして新たな目標に向けた活動の発展や拡大、団体間の連携などが求められています。

委員会では、そうした地域課題の解決に向けた取組を行うとともに、計画の推進に係る各種情報の共有や意見交換を行い、地区別計画の目標に向けた地域の取組状況の把握や振り返りを行います。委員会は、各地区の実状に応じて2～11回開催されました。

また、委員会で話し合われた内容をより多くの地域の方々に知っていただくため、「地区別計画推進委員会通信」を各地区2回程度発行し、連合自治会等のご協力のもと、区内での班回覧等を行いました。

#### (2) 地区支援チームについて

緑区では、区役所の運営責任職、保健師や社会福祉職、区社協職員、地域ケアプラザの所長、地域活動交流コーディネーター、地域包括支援センター職員（社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師等）で構成される「地区支援チーム」が地区ごとに編成されています。

そして、「地区支援チーム会議」を毎月開催し、チームメンバーが日常業務の中で把握した地域の情報や、地域展開している事業の情報、そこから分析した地域の課題などを共有し、解決策や取組について検討しており、地区別計画の推進に向けた地域の取組を、地域住民が主体となって行っていけるよう、委員会や地域住民の活動を支援しています。

#### (3) 地区別計画推進委員会連絡会の開催

委員会の委員長、地区支援チームのチームリーダーなどが参加する「地区別計画推進委員会連絡会」を4月と10月に開催しました。委員会の開催状況や今後のスケジュールの説明、各地区の取組内容などの情報交換などを行いました。

#### (4) 地区別計画推進状況活動報告

委員会では、地区別計画の目標に向けた地域の本年度の取組状況を振り返るとともに、各地区の推進状況をまとめた「パネル」を制作しました。また、平成25年2月に開催した「社会福祉大会第2部」では、十日市場団地地区と霧が丘地区の代表者が取組状況の報告を行いました。（→P.85 参照）

#### (5) 地区別計画推進に向けた各種制度の活用

地区別計画推進に向け、区役所・区社協等による事業費補助制度の活用を促進しており、このうち、「緑区地域課題チャレンジ提案事業」では、4地区の事業が採択されました。さらに、今年度創設した「地区別計画推進費（→P.6参照）」とあわせ、地域住民の主体的な取組により地区別計画がより推進していくことを目指しています。

## ●平成24年度 地区別計画推進状況

## ＜平成24年度 地区別計画推進委員会 開催状況＞

地区名	委員数	回数	開催日	委員会での主な検討概要
東本郷	29人	3	6/29、9/27 1/17	◆連合自治会等主催の「東本郷 郷(ふるさと)まつり」は、東本郷小PTA主催の「ヒガホンまつり」と統合し、「ひがほん 郷(ふるさと)まつり」と名称を変え、地域と学校が連携して開催した。 ◆「ラジオ体操」は実施会場が増え、充実されてきている。「ワンワンパトロール」活動も継続して実施していくことを確認した。
鴨居	26人	3	6/16、10/27 1/26	◆「黄色いリボン」事業については、地域の状況から一部の地区自治会が実施を見送ったが、平成25年度も連合自治会を中心として前向きに取り組んでいくことを確認した。 ◆防災ささえあいカードは、今後も工夫して実施することを確認した。
竹山	26人	2	6/13、12/5	◆ボランティアセンターでの勉強会や交流会について報告した。 ◆防災関連として、訓練の実施状況や、被災生活時や復興に向けての対策をまとめた「防災ブックNo.2」の作成等について、現状を報告した。 ◆高齢者の外出支援のためのベンチ設置について報告した。
白山	30人	11	5/26、6/23 7/28、8/25 9/22、10/27 11/24、12/22 1/26、2/23 3/23	◆地区別計画の推進に向け、昨年度に引き続き、5つの目標・理念＜①防犯、②防災、③福祉、④子供の健全育成、⑤環境＞について、取組状況の共有を行い、できることから、みんなでやっていくことを確認した。 ◆白山「安全・安心なまちづくり」を目指し、毎月推進委員会を開催した。
新治中部	29人	3	7/12、12/5 2/12	◆「防災会議の立上げ」、「MCA 無線の活用」など、連合及び単位自治会の防災の取組が新聞で紹介された。今後も防災訓練を通じて地域での関わりを深めたい。 ◆地区内で全戸配布する「防災リーフレット」の作成のため編集委員会を組織し、2月に発行した。
三保	29人	2	7/14、11/17	◆地域活動の情報を出し合い、活動場所及び活動内容に着目して整理した。今後はウェブサイトを活用して発信していくことなどを検討する予定。 ◆自治会の集会施設や学校・福祉施設等の公共施設の会議室などの利用状況などについても今後検討を行うことを確認した。
山下	17人	2	6/26、1/17	◆連合自治会全体で、「こども会」の立て直しや、「老人会」の担い手確保などに取り組むたい。 ◆地区社協では、リハビリ教室、お楽しみ昼食会、地域支えあいの会を継続して取り組むたい。
新治西部	29人	2	8/6、12/11	◆様々なイベントに活用できるテントを連合自治会で用意し、「地区別対抗運動会」で高齢者を招待するなど、自治会エリアを越えた付き合い・つながりづくりに役立つ取組が報告された。 ◆自治会の菜園、高齢者のおしゃべりサロンがスタートし、地域のつながりづくりの充実が図られていることを確認した。
十日市場 団地	28人	3	6/28、10/25、 1/21	◆団地の掃除活動が顔の見える関係づくりになっている。昼食会も実施していることを確認した。 ◆身近な交流の場づくり、「つながり」づくりとして、サロンを開設した。 ◆災害時の要援護者対策として、レスキューシートを使用した訓練などを実施していくことを確認した。
霧が丘	15人	2	7/28、12/22	◆支援が必要な高齢者の実態を誰がどのように把握し、地域に出てきてもらうのが課題。 ◆保健活動推進委員が、地域で健康チェックを毎月行っている。フットケアや乳がんの講演会も実施。 ◆防犯パトロールに力を入れており、今後、更に発展させたい。 ◆外国の方がごみ出しルールを守ってくれず、問題となっている。
長津田	30人	2	6/9、12/8	◆個人情報について正しく理解できるよう、勉強会が開催された。 ◆支援が必要な人をどう支援するかという視点で、防災ささえあいカードや黄色いバンダナと運動させて防災訓練を行ったことが報告された。 ◆認知症の理解を広めるため、地域ケアプラザによる「出前講座」を地区内各所で開催していることが報告された。
合計	288人	35		